

## グランfond京都2022

### 参加に当たって注意事項

使用する道路はすべて公道です。交通ルールを順守することは当然です。さらに地元の方が普段から使われてる道路に600名の自転車が入っていくということから、気配りと遠慮を持って走行していただくよう切にお願いします。

レースではありませんので計測は行いません

時間割がないのでプログラムもありません

スタート前に受付にお越しくください。MAPとヘルメットシールと標語ゼッケンをお渡しします

そのときに参加者であることを識別するためにヘルメット＝必須に番号を書いたシールを貼り付けていただきます

二枚を前でも後ろでも横でも構いません。

今年も安全標語を書いた参加者証を作りました。つける位置は背中の中、後ろからよく見えるように腰の位置。カバンを背負っていたらそこでも構いません。安全ピン2本でヒラヒラとさせてください

7時から8時の間にあやべぐんゼスクエアを出発していただきます

出発順序について、最初の峠（長宮峠）は狭く急なため、押して登る方が先に出発すると乗って登る方が進路をふさがれてしまいます。押して登ることが予想される方は7時20分程度の出発時間にしていただくよう御願います

MAP上のAS2の位置が前のままでした。正しくは500mほど先の一区公民館です ガソリンスタンドの隣です

4カ所に4つあるAS（エイドステーション）をたどりながら京都府中北部の景色を見てマイペースでサイクリングを堪能して安全にお戻りください。

AS3舞鶴から先に進む（ロングコースオプション）方は通過チェックテントにて必ずチェックをお願いします。行きも帰りもです。ロングコースへ入る場合の制限時間は午後1時です。これを過ぎてロングコースには行けません

今年真壁峠が復旧工事が完成して通行できるようになりました。府道66号でアプローチするのですが、従来は西舞鶴の海岸線から舟屋で有名な吉原地区を通過して、いったん国道178号を通行して上福井から城屋へ向かい真壁へアプローチしていましたが、今回は吉原からまっすぐ国道を横断して平野屋商店街、マナイ通り商店街を抜けて月桂冠で右折、高野川にさしかかったところを左折してまっすぐ行き西舞鶴高校のグラウンド横から府道66号へ合流というルートに変更しています。西舞鶴で一番の見所となる田辺城、鯉が泳ぐ高野川と廻船問屋を見ていただけるようになりました。ただ、このルートはアーケードのある商店街や狭い高野川沿いの道、その先も府道というものの生活道路（しかも農作業で刈り取りの季節）となるため十分に安全な速度での通行をお願いします。

菅坂峠を越えて舞鶴に入るまではコンビニもありません。また、舞鶴を出て真壁峠を越えて由良川沿いにさしかかると何も売っていません。風も吹いています。最初に迎える長宮峠は荒れています＝自然豊かとも言えます。変化豊かなコースをそれなりに準備して楽しんでください。

困ったときやケガなど具合が悪くなったときは本部まで電話（番号はMAPに記載）ください。中段を4台のメカニック車、1台のモト、最後尾を2台のスイーパーでサポートしています。無理をせず安全に戻ってきてください

完走された方には参加賞（ネックウォーマー）と完走証をお渡ししています。受付で受け取ってください。完走してなくても受け取れます。ゼッケン、標語はそのままお持ち帰りください

会場から歩いて600mと至近にある駅前温泉（栄温泉）の割引入浴券を受付で500円で販売しています。リーズナブルでおいしいレストランも併設していますのでぜひご利用ください

持ち物について 必須はトンネルが二つあるのでライトの付いた自転車とヘルメットです。自転車は電動車も含めて公道を走行できるものです。手袋もあったほうがいいでしょう。晴れば日よけ、雨なら雨よけが必要です。パンク修理はご自分でしていただきます。メカニックカーも帯同しますが何台もあるわけではないので必要な修理は自分をお願いします。修理不能や体調不良の場合は収容しますので電話、メール info@kyotosyaren.com 連絡ください